

## 指定管理者の選定結果

- 1 施設の名称 生涯学習センター  
静岡市南部勤労者福祉センター  
静岡市小鹿老人福祉センター
- 2 指定管理者の名称 静岡市文化振興財団共同事業体  
代表企業公益財団法人静岡市文化振興財団
- 3 指定期間 平成 26 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
- 4 選定の経緯
  - (1) 公 募
    - ア 募集期間 平成 25 年 10 月 16 日～平成 25 年 11 月 14 日
    - イ 申請団体 静岡市文化振興財団共同事業体  
ワーカーズコープ共同企業体
  - (2) 審査方法
    - ア 審査の種類
      - (ア) 書類審査 平成 25 年 11 月 15 日から平成 25 年 11 月 20 日まで
      - (イ) プレゼンテーション 平成 25 年 11 月 21 日
    - イ 審査委員会
      - 委員長 望月 茂昭 (生涯学習推進課長)
      - 委員 中村 正史 (文化振興課長)
      - 〃 久朗津 尚代 (高齢者福祉課長)
      - 〃 笠井 貴人 (商業労政課雇用労働政策担当課長)
      - 〃 猿田 真嗣 (市民委員)
      - 〃 菅野 文彦 (市民委員)
    - ウ 審査基準 (審査表)
    - エ 決定方法 (審査方法)  
各審査委員が、書類審査とプレゼンテーションの結果に基づき上記審査項目について採点し、総合点数により決定する。
  - (3) 審査結果
    - ア 選定された団体の名称及び点数
      - (ア) 名称：静岡市文化振興財団共同事業体
      - (イ) 点数：119.7/150 点満点 (市が設定した最低基準点 105 点)
      - (ウ) 指定管理料提示額：477,984,000 円
    - イ 総 評 (選定の理由等)
      - ・専門的な資質・能力を持つ職員を配置することが指向されている。
      - ・地域のまちづくりや現代的課題等の事業計画が適正である。
      - ・市民リーダーの育成等が十分考えられている。
      - ・文化と生涯学習の関連づけが良く考えられている。
      - ・豊富な実績をもとに、質が高く、地域に開かれた運営ができています。これらのことが委員から寄せられた高い評価ポイントであった。

公益財団法人としての体制が整備されていること、生涯学習に対する一貫した理念があること、4年間の指定管理の実績をもとに、安定感のある財政運営と事業計画が示されていることなどが選定につながった。

- (4) [指定管理者選定委員会設置規定](#)
- (5) 市議会の議決 平成 26 年 3 月 20 日
- (6) 指 定 平成 26 年 3 月 24 日
- (7) 公 告 平成 26 年 3 月 28 日

## 審査基準

<b>■事業計画が施設の設置の目的を達成するためにふさわしいものであること。</b>	
1	施設の設置目的を踏まえた運営方針が示されているか。
2	施設の設置目的を踏まえた市民団体等との関係について優れた将来的展望を持っているか。
3	生涯学習推進大綱の基本理念、基本目標を理解した事業計画になっているか。
<b>■事業計画が施設の効果的な管理を実現するものであること。</b>	
4	市が示した指定管理料の上限額に対し、適正な範囲内で提示されているか。
5	市民の自発的な学習活動の機会の提供に関する事業計画は適切か。
6	市民、大学、市民活動団体等との地域における連携及び協力並びにこれらの支援に関する事業計画は適切か。
7	各種講座、講演会等の開催に関する事業計画は適切か。
8	市民主体のまちづくりを推進する人材の育成に関する事業計画は適切か。
9	生涯学習に関する情報の収集及び提供並びに相談に関する事業計画は適切か。
10	生涯学習施設及び複合施設（施設概要一覧の備考に記載の各種施設）との連携が十分考慮された事業計画となっているか。
11	市民ニーズの把握及び運営への反映のための検討がされているか。
12	施設の利用促進のための工夫がされているか。
13	経費節減のための努力や工夫がされているか。
14	事業計画に対する収支予算は適切か。
15	住民の利用について公平性が確保されているか。
16	健康文化交流館においては、3施設の複合である特性を活かした事業計画となっているか。
<b>■事業計画に沿った管理を行うために必要な物的・人的能力を有していると認められること。</b>	
17	定款・寄付行為、規約等に定められた団体の業務内容が、当該指定管理業務を行うのに適しているか。
18	適正な能力を持った職員が適正な人数で配置されているか。
19	当該施設の指定管理者としての実績は十分か。または類似施設の管理運営実績は十分か。
20	スタッフの指導育成、研修計画等が整備されているか。
21	事故、災害など緊急時における対策は適切か。
<b>■管理の業務を適切かつ円滑に行うための経理的基礎を有していること。</b>	
22	経理について適切な処理能力を有しているか。
23	決算収支の状況は良好か。